

テーマ1「うんどう」 2024年7月～10月

園舎改装中のため、運動や遊びの内容が限られてしまいます。そのため、子どもたちが学びながら運動時間を確保し、単に運動のメニューをこなすだけではなく自ら考えたり工夫したり探究をすることで、身体を動かすことに対してより楽しくポジティブになってほしいと考えました。

運動会で発表することを目標に、毎月2回(グループごとに各1回ずつ)スタジオレッスン直前に探求学習を実施し、気づいたことをスタジオレッスンで実践しました。

7月:まっすぐ転がるものとまっすぐ転がらないものの違い



前転、後転、側転などの運動について、単に運動するだけでなく、どうやったら上手にできるか、うまくできるかを考え、気づいたことを実践しました。まずはじめに、モノを転がすことから、うまく転がるモノとそうでないモノを視覚的にわかる状態で違いや発見をしました。まっすぐ回ることにはバランスが必要なことに気づいたり、まっすぐ転がるものを真剣に探して試してみたりしていました。

8月:どうしたら上手にバランスがとれるのか

子どもたちから出た『バランス』について着目。モノとヒトのバランスについて考えました。どうするとモノのバランスがとれるか様々な形状のモノで試してみました。バランスを試す実験では、土台の面に注目したりと、色々な視点から見る事ができていました。



9月:視線の使い方とバランスの関係



ヒトのバランスについて様々な条件がバランスにどう影響するか、実際に目隠しや見る方向を変えて実践し、ヒトは目も使ってバランスをとっていることを知りました。年長児は目隠ししたり視線を変えたりしてチャレンジする変化を楽しみ、その違いに自ら気づいていました。翌日のスタジオレッスンでは、いままで「バランス」には気づかなかつたけれど、「バランスをとる」ことを意識して実践している様子が伺えました。

10月:すごろく制作を通じて、運動会で学んだことの振り返りアウトプット

最後に、すごろく作成として、どんなことを学んだか、役に立ったこと、頑張ったことなど振り返りました。これまで学んだこと（バランス、体の形、スピード、視点など）について「やるべきこと」「やるべきではないこと」の意見が次々と言われ、探究活動の成果が感じられました。



探究活動の中で、感じたこと、気づいたことを積極的に発言する姿が見られました。また、うまくできるにはどうするかという問いに対して、気づいたことを実際に試してみることで、さらなる探究につなげることができました。ただ運動するだけでなく、探究活動を行うことにより、バランスや視線を意識して効果的に運動を行うことができていました。

次回のテーマは「しぜん」です。